

佐呂間町民憲章

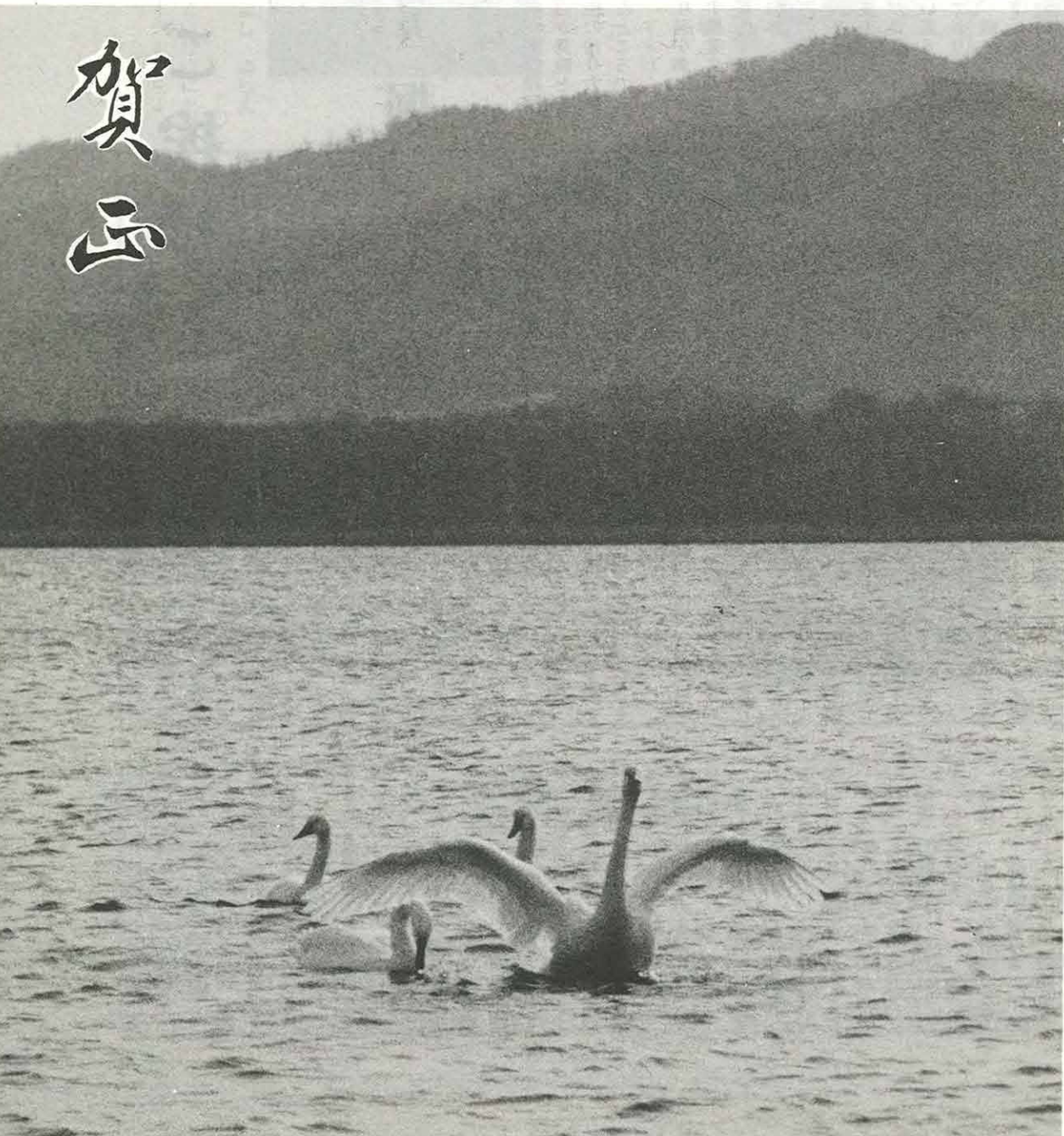
たがいに助け合い

あたたかく幸せなまちをつくれます

平成2年
(1990)

1

賀
正



年頭のご挨拶



佐呂間町長 堀 次郎

明けましておめでとうございます。皆さんと共に輝かしい新年を迎えられましたことを心より嬉しく感謝申し上げる次第であります。

昨年は激動を乗り越えてきた昭和の時代が静かに幕を閉じ、国民総てが、豊かで平和な生活が送れることを願って、平成の時代がスタートいたしました。

世界においては、中国、フィリピン等の問題は大変残念な出来ごとでありましたが、ソ連のペレストロイカによって鉄のカーテンが可成り透明度を増し、幾多の悲劇を生んできたベルリンの壁の重い扉も開くという明るい陽射しがみられました。国内においては、日本で初めての

消費税導入がなされ、実行段階でいろいろと問題点が課題となり、国民の多くが税の在り方について関心を高めたところでありました。

本町の昨年は振り返りますと基幹産業であります農業においては、春の遅霜、夏にかけての高温、干ばつ等の影響により、農産収入で約五億円の減収、反面畜産収入が三億円の増収がみられました。農業全体的には二億円程度の減収が見込まれ、一昨年並の農協扱い高八十億円には厳しいと聞いております。漁業においても、暖冬の影響により、流水が接岸しなかったため、プランクトンの不足により、外海ホタテの発育不良、市

場における価格の低迷により、史上最高を記録した一昨年に比べ水揚げ高は減少をみましたが、漁組の当初計画には漕ぎ着ける見込とのであります。

林業においては、世界の森林が乱開発され、地球環境の保全が叫ばれている今日、外材の輸入が難しく、国内材の見直し傾向にある中で、町内の林業関係の総事業高は四十五億円程度で一昨年並の生産高を維持できるものと思われまます。

いずれの産業にいたしましても、厳しい状況のもとで生産性の向上に努力してこられた関係各位に対し心より敬意を表する次第であります。

平成元年は、私にとりまして

大変意義深い年でありました。それは、初めての予算執行の年であり「共に語り、共に参加する町政の推進を目指し」一人でも多くの町民の方々の声を町政に反映させようと行動をしたことであります。その第一歩は住民要請のありました各自治会との地区別懇談会を開き、各担当職員と各地へ出向き、地域の問題、町政に対する要望を直接聞かせていただき、今後の町政運営に向けて多くのご助言をいただきました。

また、老人クラブ、婦人会、各青年層の集会和、日夜を問わず会合に参加させていただきました。

庁内にあつては、各課職員を対象に話し合いの場をつくり、建設的な意見の交換をして参りました。余りにも多種多様なご意見やご要望が多く大変驚きでしたが、一方では、多くの町民の方々の町造りに対する情熱に心より敬服するとともに、その責任の重大さを深く感じております。

ふるさと創生の一億円の使途については、小学生からお年寄りまで沢山の楽しいアイデアを寄せていただきありがとうございます。

いました。いろいろと慎重に審議させていただきました結果、郷土の文化と伝統を守り育てるとともに、本町の将来に対し幅広い人材育成のための基金として活用したいと考えています。また、皆様から寄せられた多くのご意見やアイデアは、今後の町づくり計画の参考にさせていただきます。

さて、今年は第二次総合計画の仕上げの年であります。審議会においては、すでに内容の検討に入っていたいておりますが、開基百年を中間点にして十か年の計画だけに、広く町民の皆さんのご意見を充分参考にさせていただき、審議委員の方々とその立案に全力を傾注して参ります。

昨年来、役場庁舎の改築も進み、町民が利用しやすい気軽にお立寄りいただける様な明るい雰囲気づくりに配慮したいと思ひます。どうかご来庁の折には町長室へもお立寄りいただき、ご指導、ご助言をいただければ幸いです。

最後に、本年も皆さんにとりまして、ご健勝で実り多い年でありますようお願い申し上げます。上げ新年のご挨拶といたします。

新春のご挨拶



佐呂間町議会議長

齊藤 公男

町民の皆様、あけましておめでとうございます。

ここに清新の氣に満ちた平成二年の新春を町民の皆様と共に迎えてお祝いできましたことを心からお慶び申し上げます。

新しい年の出発にあたり、昨年一年間を顧みます時、変貌の激しかった昭和の時代は終り、新しく平成の時代を迎え、回復を期待した景氣も低迷の域からぬけ出る事が出来ないままに終始し、住民生活にも何かと苦勞の伴った一年であったと思います。特に、農家の努力は報われることなく、生産物は夏の異常氣象により減収を余儀なくされ加えて諸外国から一層の市場開放の要求が強くなり、自由化の

波は容赦なくせまってきたております。一方漁業においても、主産であるホタテの生育が悪く、価格も低落し漁業経済に少なからずの影響を与え、また、林業中小企業を取りまく経済環境は厳しく、その振興対策が望まれるところでもあります。四月からの消費税の導入は多くの消費者にとつて理解されることなく、不安の多い年でもありました。

こうした中で、九月には住民の新たな信託を受け、はからずも議長の大任をお受けすることになり職責の重大さを痛感し、微力ではありますが議会の円満な運営と町の発展のため誠心誠意努力する覚悟であります。皆様のご支援ご協力を心から

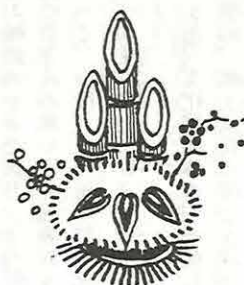
お願い申し上げる次第でございます。

昨年は、厳しい財政状況の中で、福祉事業としての総合公園整備事業は計画のとおり三年目の事業着手、在宅福祉サービス車、老人福祉バスの購入、更には二年計画で進めておりました交通公園の完成、幌岩山展望台設置、土地基盤、道路整備などの事業が計画的に進められましたことは町民の皆様と共に喜びにたえないところであります。これらの施設が有効に利用されます事を希望するものであります。

さて本年の課題としては、初期の長期総合計画の仕上げの年でもあり、それぞれの事業の完

遂が望まれるところでありますと同時に財政の健全化を図ることも重要な事であります。

本年は次の長期総合計画の策定の年でもあり、私も議会としましては各種計画の実現、基幹産業の発展、地域の活性化、更には住民福祉の向上など今日の課題に対応するため、精一杯努力して参りたいと存じております。今年こそ皆さんと共に知恵を出しあつて村おこし事業、創生事業の達成を期したいものであります。平成二年は大きく飛躍の年でありますように皆様方のご理解あるご協力を心からお願ひ申し上げますと共に、ご健勝ご多幸を心からお祈り申し上げます年初のご挨拶といたします



謹賀新年

町議会

議長 齊藤 公男
副議長 為 広 紀 義

町長

堀 次郎
助役 宇佐美 不二夫
収入役 長 沢 徹

教育委員会

委員長 杉 本 磐
教育長 安 藤 嘉 朗
外委員・職員 一同

農業委員会

会長 森 利 晴
会長代理 中 谷 清
外委員・職員 一同

選挙管理委員会

委員長 春 木 忠 一
外委員 一同

監査委員

委員長 宮 崎 正 義
委員 室 井 四 郎

遠軽地区広域組合消防署佐呂間支署

団長 鈴 木 重 一
支署長 安 藤 雄 治
外団員・職員 一同

新春のご挨拶



佐呂間町教育委員会教育長

安藤 嘉朗

明けましておめでとうござい
ます。

町民の皆さんと共に輝かしい
新年を迎えることができました
ことを、心からお慶び申し上げ
ます。

本町の教育諸施設は、町民各
位の積極的なご協力により、一
応の充実をみているところであ
り、昨年は、地域のスポーツ振
興に配慮した栄簡易プールの完
成がありますが、主体的には既
存施設の整備充実に留意してき
たところであります。

今後、整備を要する教育関係
の主なる事業は、武道館の建設
若里小学校の改築等があります
が、これが実現に向けて積極的
に努力してまいりたいと存じま

す。

学校教育については、臨時教
育審議会の答申を受けて、新学
習指導要領の改訂が行われ、幼
稚園については平成二年度、小
学校平成四年度、中学校につい
ては平成五年度に実施される運
びとなっており、基本的な方針
は「心豊かな人間の育成」「基
本の重視と個性教育の推進」「
自己教育力の育成」「文化と伝
統の尊重と国際理解の推進」と
されており、教職員の皆
さんの協力の基に、調和のとれ
た児童、生徒の育成に努めてま
いりたいと存じます。

学校給食については、本町に
応しい給食のあり方について充
分検討しながら進めることとし

学校統合についても、関係住民
の理解と協力を得ながら進めて
まいりたいと考えております。

社会教育では、社会教育中期
計画が平成元年度をもって終了
いたしますが、第二次中期計画
の策定は、現在進められており
ます。佐呂間町総合計画との整合
性を考慮し計画初年度を平成三
年とし、生涯学習並びに生涯ス
ポーツに配慮し、幼児から高齢
者まで、だれでもが地域社会活
動に参加し、自己充実の図れる
ことを基調として今年度策定す
ると共に昨年に引きつづき少年
スポーツ、高齢者スポーツの振
興及び組織運営の確立に努め、
更には社会教育諸施設の機能充
実に努力してまいりたいと思

っております。

その他、図書館については蔵
書数万冊を越えましたので、
その機能の充実を図り、より町
民の皆さんの親しめる図書館に
すべく、今後、尚一層の整備充
実を期してゆきたいと考えてお
ります。

また、文化諸団体の育成強化
に努め、郷土文化の関心を深め
ると共に明るく豊かな文化的町
づくりを推進したいと思ひます
学校、PTA及び関係諸団体
より教育についての数多くのご
要望がありますが、健康で明る
い教育、文化的な町を築くため
町民各位のご理解とご協力をい
ただきながら、ご要望及び計画
の実現について尚一層の努力を
傾注してまいりたいと存じます
年頭にあたり町民の皆様の温
かいご理解とご協力をお願い申
し上げ、皆様方の益々のご健勝
とご多幸をご祈念申し上げます
新春のご挨拶といたします。



ブルームボールチーム募集

職場の仲間同志、友人のグループで

チームを組んで参加してみませんか？

競技内容等詳細については、役場 上高 邦俊
佐小 賢一 まで

二十歳になったら

国民年金に加入を!!

成人を迎えられる皆さん、おめでとうございます。

二十歳になると、成人として多くの権利が認められるとともに義務も課せられます。国民年金に加入することもその一つです。

今、「人生八十年時代」といわれ、日本人の平均寿命は、どんどん延びています。

こうした状況のもとで、公的年金は老後の生活の支えとして大切な役目を果たしています。

若い皆さんにとって「年金」の話は遠い先のことで、自分には関係ないと思われるかもしれませんが、将来は確実に老後を迎えることになります。

また、万一、人生の途中で病気やケガなどで、働くことがで

きなくなることも考えられます。そのようなときにも、国民年金は支給されるしくみになっています。

そのときになってあわてることのないよう、成人を機会に老後のことも考えてみてはいかがでしょうか。

毎年、一月十五日の成人式に出席されている方には、国民年金についての小冊子を差し上げておりますので参考にしてください。

成人の第一歩として、厚生年金や共済組合に加入していない人は、必ず国民年金に加入してください。加入の手続きは役場年金係で簡単にできます。



保険料

納めましたか?

農業、漁業、商業など自営業の方(第一号被保険者)が納める保険料は、月額八、〇〇〇円です。

年金は長期間の保険料納付で実を結びますが、国民年金に加入していても保険料を未納にし

国保一口メモ

お年寄りの

医療について

70歳(寝たきり等の人は65歳)以上のお年寄りは、老人保健制度で診療を受けますが診療を受ける際、次のような一部負担金(診療費のうち患者の負担する分)を支払います。

外来診療の場合は、一か月八百円、入院の場合は、一日四百円を入院日数分支払います。

ただし、住民税非課税世帯で高齢福祉年金の支給を受けている人は、二か月間に限り

ていたため、不幸にして事故にあったときに年金(障害基礎年金や遺族基礎年金)が受けられなくなったり、六十五歳になっても老齢基礎年金が受けられなくなったりしては大変です。

若いときは老後のことに無関心な方が多いようですが、六十五歳になったとき、まわりの人が「みんな年金をもらっているのに自分だけもらえない」「自分より高い年金をもらっている

一日三百円を支払います。

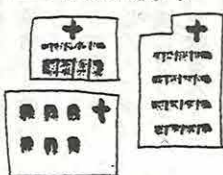
70歳になった翌月から対象となりますので、対象者には役場から事前に通知します。

医療費節約のチエ

3 休日・深夜・時間外受診を避ける



1 みだりな転医をひかえよう



4 早期発見を心がけよう



2 からだに抵抗力をつけよう



役場から交付された「医療受給者証」と「保険証」を病院等で提示し受診して下さい



「では怪しいのこります。将来悔いのこさないよう若いときから毎月の保険料は忘れず納めましょう。」

地方自治の振興に多大な貢献

勲五等瑞宝賞受章

宮前町

土田

正氏

この度、故土田正氏が勲五等瑞宝章を受章され、十二月四日網走支庁からご遺族の奥様の富貴江さんに、勲記と勲章が伝達されました。

土田氏は、昭和七年斜里村に奉職し、昭和十二年からは佐呂間村職員として勤務され、以来四十年間地方公共団体職員として勤続されました。

この間、昭和二十一年に収入役、同二十九年からは助役として、戦後世相の混迷する中、町長を補佐し、民生の安定と地域



勲章の伝達を受ける富貴江さん

住民の福祉向上、地域産業の振興にご尽力されたとともに、地方財政至難な中で、行財政の健全化と町村合併の実現、更には住民生活環境の向上のため、町内各簡易水道施設の布設整備に尽くされるなど、その業績は多岐に亘り、大きなものがあります。

このほか、住民の信望も厚く保護司として、地域社会に尽くされるところに、釧路地方裁判所民事調停委員、同裁判所家事調停委員、釧路家庭裁判所参与



勲記と勲章

員、遠軽簡易裁判所司法委員を勤められるとともに、日本水難救済会佐呂間救難所副所長や遠軽地区交通安全協会佐呂間支部長などの要職を歴任され、地域の発展に寄与されました。

今回、このような数々のご功績が認められ、受章されたものです。

故人の偉大なご功績に深甚なる敬意を表し、ご冥福をお祈り申しあげます。

歌と芝居で

笑いの渦

若佐赤トンボの会

十二月三日「若佐赤トンボの会」が特別養護老人ホームを慰问しました。



芝オケ「瀬戸の花嫁」

若佐赤トンボの会（代表、阿部正一氏）は、若佐地域のお祭を盛り上げようと有志で結成したグループで、今年で三年目を迎えます。

この日は「歌と笑いの芝オケ」と銘打って、会員八名の人がカラオケに合わせて芝居をする芝オケの「宮本武蔵」と「瀬戸の花嫁」には、入園者から笑いが絶えませんでした。

また、自慢の喉を披露したカラオケでは、懐かしのメロディを聞き、ベットで横になりながらも手足でリズムを取る人など観客と一体となった舞台が繰り広げられました。

最後に、グループの阿部代表は「地域への奉仕とお年寄りの方に楽しんでもらおうと、今回この舞台を企画しました。これから多くの人に楽しんでもらえるよう頑張りたいです」と語ってくださいました。

三〇〇歳

バレーボール大会

十二月十日、佐呂間町バレーボール協会主催による第五回全町三百歳バレーボール大会が、総合体育館、佐呂間小学校体育館を会場として行われました。試合に先立ち、開会式ではバ



レーボール協会長の中道寛雄さんから同協会へ三百歳バレーボール優勝旗が寄贈されました。試合は、九人制で行われコート内の選手の合計年齢が三百歳以上になること、三十五歳以下の選手はアタックライン後方からでしかスパイクができないなどの制約がありましたが、各自治会より十四チーム、二百名の人が参加し熱戦を繰り広げました。

なお、結果は次のとおりです

●一部トーナメントの部

- 一位 若佐カッターズチーム
- 二位 栄チーム
- 三位 西富公住Aチーム

●二部トーナメントの部

- 一位 西富K&Jチーム
- 二位 左呂間Aチーム

収穫に満足顔

～若佐小学校～

十一月三十日、若佐小学校で体験学習の締めくくりとして「収穫祭」が行われました。

同校では、教科書だけでなく実際に農作業を体験し、おぼえてもらおうと、春から田植えをし稲を栽培してきましたが、子供たちの努力がみのり、秋には黄金色に実った稲の刈り取りをし、足踏み脱穀機を使って三俵のもち米を収穫しました。

この日は、収穫の喜びとお世話になった人へのお礼を兼ねて体育館で父兄を招いての餅つきが催されました。

どの子も「最高のお米が取れた」と満足顔で、つきたてのお餅を口一杯にほお張り楽しい一日を過ごしていました。



町民剣道大会

十一月二十六日、佐呂間町剣道協会主催による第十五回町民剣道大会が総合体育館で行われました。

大会は、小学生低学年の豆剣士から一般成人まで総勢約百八十名が、日頃の鍛練の成果を発揮し、団体戦に個人戦にと熱い戦いを繰り広げました。

なお、結果は次のとおりです（各部門とも一位のみ掲載しております。）

●団体戦

・小学生男子低学年の部

富武士剣道スポーツ

少年団チーム

・小学生男子高学年の部

栄剣道スポーツ

少年団Bチーム

・小学生女子の部

富武士剣道スポーツ

少年団チーム

・中学生男子の部

浜佐呂間チーム

・中学生女子の部

幌岩チーム

・高校、一般男子の部

佐呂間Cチーム

●個人戦

・小学生男女低学年の部

松山 隼也（佐呂間）

・小学生男女三、四年生の部



竹内 文洋（浜佐呂間）

・小学生男子高学年の部

川上 達也（富武士）

・小学生女子高学年の部

船木 里子（富武士）

・中学生女子の部

中村 紀恵（幌岩）

・中学生男子の部

横山 裕司（浜佐呂間）

・高校、一般女子の部

中村 律子（幌岩）

・高校、一般男子三十四歳

石川 昭三（佐呂間）

・一般男子三十五歳

十亀 雅俊（栄）

・一般男子五十歳以上の部

窪田 正（浜佐呂間）

・選手権の部

仲野 寿浩（浜佐呂間）

北海道社会貢献賞受賞

宮前町 岸本 勲氏



平成元年度北海道社会貢献賞を「自治功労者」として、岸本勲氏が受賞されました。同氏は、昭和十六年から町

職員として勤続し、本町自治の伸展に努められ、更に昭和五十二年からは収入役、また昭和六十年からは助役として行政の推進に努められ、本町の発展に貢献された功績が認められ、今回の受賞に至ったものです。

受賞された岸本氏には、多年のご労苦に感謝申し上げますと共に衷心よりお祝い申し上げます。

篤志寄付

（若佐コミュニティセンター落成を記念し施設整備資金として）

一金 壹百万円

若佐 佐藤 政 喜氏



この度、若佐の佐藤政喜氏から、若佐コミュニティセンターの落成を記念し、施設整備資金として壹百万円の寄付がありました。たいへんありがとうございます。

社会教育だより

今手づくりの時代

ソーセージづくりを

町民講座の「料理教室」は、昨年好評だった「手づくりソーセージ」を実施します。

この教室では、ソーセージづくりのプロをお招きし、食品添加物一切なしの、本格的なものです。皆さんの参加をお待ちしております。

期日 二月八日(木)
時間 午前九時三十分より
場所 地場産品開発センター
内容 ソーセージづくり



昨年のソーセージづくり

受講料 無料
材料費 千五百円くらい
定員 二十名
締切り 一月十八日(厳守、定員になりしだい締切り)

対象 高校生以上成人男女

受講料 無料

材料費 七百円くらい

定員 二十名

その他 帰りにソーセージ五百グラム程度をお持ち帰りいただきます。

締切り 二月五日(定員になりしだい締切り)

申込み 教育委員会社会教育係

公民館講座

受講生募集

冬季公民館講座を次のように開講致します。冬の夜長楽しい花づくりを学びながら、あなたも地域の人達と交流を深めてみませんか。あなたの参加をお待ちしています。

開講日 一月二十四・三十一日
二月七・十四・二十一
日(毎週水曜日)

場所 浜佐呂間公民館

時間 午後六時三十分から

内容 アートフラワー
(つばき、さくらを作

る予定です)

講師 仲川蓮子氏(宮前)

受講料 無料

材料費 千五百円くらい

定員 二十名

締切り 一月十八日(厳守、定員になりしだい締切り)

申込み 教育委員会社会教育係

(二一三三一、内線

三三四番、三二五番)

ヤングセミナー

受講生募集

日頃何か学びたい、こんなことに挑戦してみたいと考えているあなた、この機会に同じ考えの仲間と冬期間にチャレンジしてみませんか。

ヤングセミナーは町内の若い人が集い交流を深め、住みよい町になるよう楽しく学びあう場所です。難かしい理屈は抜きにリラックスした雰囲気が進めます。昨年のプログラムは、参加者の意見を取り入れ、次のような内容でした。

・手づくり楽器教室・手話教室
・七宝焼に挑戦・料理教室
・講演「ボランティアとは」
・講師 網走教育局社教指導班
・「流水あいつらんど共和国」
・視察研修(紋別市) など

ヤングセミナー

受講生募集

日頃何か学びたい、こんなことに挑戦してみたいと考えているあなた、この機会に同じ考えの仲間と冬期間にチャレンジしてみませんか。

ヤングセミナーは町内の若い人が集い交流を深め、住みよい町になるよう楽しく学びあう場所です。難かしい理屈は抜きにリラックスした雰囲気が進めます。昨年のプログラムは、参加者の意見を取り入れ、次のような内容でした。

・手づくり楽器教室・手話教室
・七宝焼に挑戦・料理教室
・講演「ボランティアとは」
・講師 網走教育局社教指導班
・「流水あいつらんど共和国」
・視察研修(紋別市) など

今年もまた受講される方の意見を多く取り入れた学習内容に

する子定です。是非あなたも友達を誘って参加してみたいかがですか。

開設期間 二月〜三月
(八回程度)

会場 町民センター ほか

対象 十八歳以上の方

学習内容 教養に関すること
文化活動
レクリエーション等

申し込み 一月二十七日(土)

教育委員会社会教育係

電話 二一三三一

第一回ヤングセミナー

二月一日(木)

(学習内容を検討します)

町民センター 午後七時

※詳細は教育委員会社会教育係

にお尋ね下さい。



手話を習う参加者

マリンバトリオのクリスマス

クリスマス

本年度の地区コンサートが「クリスマス・コンサート」と題して、十二月十八日若佐コミセン、十九日富武士漁民センター、二十日町民センターの三か所で開催されました。



楽しかったコンサート…若佐会場

今回は、オホーツク・パーク・パティオ・アンサンブル・マリンバトリオを招いて、マリンバ三台による重厚な音色を楽しみました。

コンサートは、クリスマスソングや映画のテーマ曲から、クラシックやポップスまで多彩な曲で構成され、また入場者にはクリスマスプレゼントも用意され、一足早いクリスマスの夜をマリンバの調べとともに楽しみました。

一年間の締めくくり

寿大学閉校

平成元年度佐呂間町高齢者教室「寿大学」が、去る十二月八日老人福祉センターで第十五回卒業式、第十七回閉校式を挙行しました。

十七年目を迎える本年度は、四月十八日に開講以来、計十八回の学習に百六十九名の方々が一年間熱心に受講しました。

今年度の学習内容は、健康管理、一般社会、倫理道德、芸術文化に関する事等、計九十四時間に及ぶ学習でした。

寿大生は皆健康で、出席率も大変よく、皆勤者三十名、精勤者が三十六名でした。また、今年度卒業生二十四名とともに、



閉校式後の懇親会にて

一名の博士号が誕生しました。来年度も、全員元気に受講して学習をつづけていただきたいものです。

おいしい料理が

できました！

本年度、ちびっ子文化教室の第二弾として「二時間クッキング」が、十二月九日浜佐呂間小学校十二月十六日若佐コミュニティの二会場で行なわれました。



浜佐呂間会場にて

今回は、浜佐呂間会場で五、六年生九名、若佐会場で五年生十三名が、農業改良普及所生活改良普及員・渡部優子さんの指導で、野菜のグラタン、カナッペ、ヨーグルトソースのフルーツサラダの計三種の料理に挑

戦しました。

当日は、男の子も女の子もエプロン姿で、計量カップの使い方から実際の調理の仕方まで指導してもらいました。約二時間後には、それぞれの料理が、きれいに皿に盛りつけられて出来あがりしました。その後、試食会では、自分の作った料理をおいしく食べて終了しました。

町民センター

申込みについて

町民センターの使用申込みについては、三か月前から受付をしていますが、次の点にご留意下さい。

受付は申込みの早い方から受け付けをするのが原則ですが、大安の日曜日のように、結婚祝



若佐会場にて

賀会等申込みが重なる場合があります。このような時は、受け付け開始時間の午前八時三十分までに申込みに来られている方の受け付けをしますが、複数の方が同日同時刻の利用を希望される場合は、抽選で決定させていただきます。一分遅れても抽選の対象となりますので、呉々もご

家庭教育テレホンサービス

家庭教育テレホンサービスの内容は次のようになっています。いずれも小学生の教育には欠くことのできない課題ばかりです。

お正月も二十四時間セットしてありますので、あなたの都合のいい時間、聞きたい内容の日に

二一〇二〇にダイヤルして下さい。

サービス開始以来すでに百五十通話以上と、好評を博しています。子育て中のあなたの、ダイヤルをお待ちしています。

注意下さい。尚、電話での申込みや、町民センターでの申込みは一切行なっておりませんので、ご承知お下さい。ご不明な点がございましたら、教育委員会社会教育係（二一三三二一、内線三三四番・三三五番）にお問合せ下さい。

予定日・時間	対象	内 容
1月8日 9:00 1月16日 8:30	小学生	・読書の習慣 (1) マンガブームの中で (2) 読書のおもしろさの体験 (3) 本の遊び方、与え方
1月16日 9:00 1月22日 8:30	〃	・「友だち」について考える (1) よい友達、悪い友達 (2) 大人の干渉と友だち (3) 何故、友だちは大切なのか
1月22日 9:00 1月28日 8:30	〃	・学習意欲をもたせる (1) ヤル気を起こさせるには (2) 成績よりも個人の努力、伸びを大切に (3) 子どもの長所、特性と成績
1月28日 9:00 2月4日 8:30	〃	・「失敗と成功の体験」 (1) 体験の少ないいまの子ども (2) 成功と失敗の2つ (3) 体験は何故大切か
2月4日 9:00 2月12日 8:30	〃	・非行の芽をつむ (1) 遊びから非行 (2) 悪の意識のない非行 (3) 心配な「集団非行」

お知らせ

町や関係機関からのお知らせ、行事の案内をのせています。

運転免許証

更新講習会

▼日時 二月五日(月)
午後六時から

▼場所 町民センター集會室
※講習は、有効期限(誕生日)の一年前から受講できます。

更新手続きは、有効期限の一月前からできます。

なお、受講される方は、免許証、筆記用具をご持参ください
(交通安全協会佐呂間支部)

町立佐呂間幼稚園

入園児募集

平成二年度町立佐呂間幼稚園の入園児を次の要領で募集致します。

なお、幼稚園は学校教育法に基づき設置されていますが、義務教育ではありませんので御了解願います。

一、入園資格
満四歳から小学校就学の始期に達するまでの幼児で、通園可能な幼児

・四歳児 昭和六十年四月二日から、昭和六十一年四月一日までに生まれた幼児

・五歳児 昭和五十九年四月二日から、昭和六十年四月一日までに生まれた幼児(但し、平成元年度佐呂間幼稚園に四歳児として入園したものを除く)

二、入園募集人員
・四歳児 一学級 四十名
・五歳児 一学級 四十名
募集人員が定員を超えた場合は、選考のうえ入園を決定します。

三、申込方法
教育委員会に申込用紙がありますので、印鑑持参のうえ申し込んでください。

四、申込期間
平成二年二月一日から

二月十五日まで

五、入園料及び保育料

・入園料 三千六百元(入園の際)

・保育料 五千元(月額)

六、その他
お問い合わせは、教育委員会(☎二一三七〇八)もしくは幼稚園(☎二一三八一二)まで。

佐呂間保育所

入所児募集

平成二年度町立佐呂間保育所の入所児童を次の要領で募集します。

▼入所資格

平成二年四月一日をもって就学前の幼児を対象としておりますが、次の要件に該当しなければ入所できません。

①母親が勤めに出ているため幼児の保育ができず、同居の方も、その幼児の保育をすることができない場合
②母親が自宅で幼児と離れて家事以外の仕事をしているため幼児の保育ができず、同居の方も、その幼児の保育をすることができない場合

同居の方も、その幼児の保育をすることができない場合(ただし、父親がその仕事に従事しており、そのため使用人がいる場合は除きます。)

③母親がいない家庭で、同居の方も、その幼児の保育をすることができない場合
④母親が止むを得ない理由(お産、病気等)のため幼児の保育ができず、同居の方も、その幼児の保育をすることができない場合

⑤家族が長期に亘り病気等で母親が看病しているため、幼児の保育ができず、同居の方も、その幼児の保育をすることができない場合
⑥特別災害等の不幸があり、復旧されるまでの間、幼児の保育をすることができない場合

⑦保育所への通所可能な幼児
⑧集団生活ができ、現在、病気の無い幼児

※入所は、家族構成、母親の状態で、家族環境等により決定されます。また、定員等の事情により、希望者全員が入所することができない場合は、保育を必要とする度が高い幼児から入所していただくこととなります

▼申し込み期間
一月七日から二月末日まで

▼入所募集人員 一〇〇名
※申し込み及び添付書類、佐呂間保育所及び役場民生課社会係、若佐支所、浜佐呂間出張所に申し込み用紙がありますので、諸事項を記入のうえ申し込みください。

尚、給与所得者は、昭和六十三年分給与所得の源泉徴収票及び勤務先の就労証明書を添付してください。

▼保育料

申し込みされた世帯の所得課税額状況により決定しますので、申し込み後、調査の後日決定通知を送付します。その他詳しいことは、佐呂間保育所(☎二一三六四七)へお問い合わせください。

季節勤労者の

皆さんへ

佐呂間町勤労者厚生企業組合の冬期技能講習会と企業組合総会を次のとおり行います。

▼冬期技能講習会

・日時 二月一日より(予定)

・場所 町民センター

▼企業組合総会

・日時 一月十七日 午前十時

・場所 町民センター

※冬期技能講習会の申込みを、総会前(午前九時より)に受付します。

※詳しいことは、事務局渡部宅(☎二一三四一四)までお問い合わせください。

(佐呂間町勤労者厚生企業組合)

町立へき地保育所 入所児募集

平成2年度町立へき地保育所の入所児童を次の要領で募集します。

▼入所資格

- ①母親の労働又は病氣、その他の理由で日々保育に欠ける幼児
 - ②保育所への通所可能な幼児
 - ③集団生活ができ、現在病氣のない幼児
- 尚、定員を超える場合は保育を必要とする度合が高い幼児から入所していただく

ことになりました。
▼申し込み期間
一月七日から二月末日まで

▼入所募集人員

- 栄 保育所 六〇名
若 佐 保育所 六〇名
浜佐呂間保育所 六〇名
富武士 保育所 五〇名
若 里 保育所 五〇名
- 年齢区分は、平成二年四月一日において満三歳以上で小学校入学前の幼児です。
尚、保育期間中に満三歳に達し日々保育に欠ける幼児については、満三歳に達した日から入所できます。
- ▼申し込み及び添付書類

佐呂間町消防出初式

平成2年、佐呂間町消防出初式を次のとおり実施いたします。つきましては消防用サイレンを下記のとおり吹鳴しますので御了承願います。

記

日 時 平成2年1月6日(土)

分列行進 9時45分

佐呂間市街

(江戸っ子前から消防まで)

観 閲 式 10時00分

消防支署前

サイレン吹鳴時間

地 域 名	サイレン吹鳴時間
佐 呂 間	8時30分・9時45分
浜佐呂間・若佐・栄	8時00分

紋別空港利用者の 航空運賃補助を 実施しています

オホーツク紋別空港関係一市十一町村では、オホーツク紋別空港整備促進期成会を組織してオホーツク紋別空港のジェット化、通年複便運航化、更には千歳空港への乗り入れ実現に向けて、空港利用促進運動を進めています。

この運動の一環として、本町でも平成二年三月三十一日まで間に、紋別、丘珠線を利用される町民(佐呂間町に住民登録

佐呂間保育所及び役場民生課社会係、若佐支所、浜佐呂間出張所に申し込み用紙がありまますので、諸事項を記入のうえ申し込みください。
尚、給与所得者は、昭和六十二年分給与所得の源泉徴収票を添付してください。
▼保育料
申し込みされた世帯の所得課税額の状況により決定されますので、申し込み後調査をして、後日決定通知を送付します。
その他詳しいことは、佐呂間保育所(☎二一三六四七)へお問い合わせください。

補 助 内 訳

区 分	正 運 規 賃	町補助	エアースポーン(株)補助	利用者負担
大 人	11,400	2,450	2,850	6,100
ス カ イ ト ス メ イ ト	7,400	1,300	—	6,100
小 人	5,700	1,100	—	4,600

をしている方。なお、学生の場合はその保護者が佐呂間町に住民登録をしている方)を対象として次のとおり航空運賃補助を行っています。

この制度を利用される方は、紋別空港利用促進航空運賃補助証明証が必要となりますので、役場企画調査室企画調査係まで申し出てください。

屋根からの落水雪に 注意しましょう

注意しましょう

屋根のつららなどは、日中、特に気温が高くなる午前十一時頃から午後二時頃までの間が一番落ちやすくなり、落水雪事故が多く発生します。

次のことに注意し、これらの

「自分さえよければ……」 の迷惑駐車はやめましょう。

- ◎除雪等の障害や道路管理の防げになります。
- ◎歩行者事故の大きな要因になります。
- ◎道路を狭め、交通の流れを悪くします。
- ◎救急車や消防車の活動の防げになります。

事故を防止しましょう。

・家の軒下の通行は、できるだけひかえましょう。

・子供を軒下で遊ばせないようにしましょう。

・屋根の雪が道路等に落ちような建物は、屋根にすべり止めを付けましょう。

・屋根から多くの雪が落ちたときは、事故がないかどうかすぐ点検しましょう。

ぼくとわたしの作品

今月は佐呂間小学校のお友だちの作品を紹介します。



力強く、のびのびと書きま
した。生き生きとした字になりま
した。



ていねいに、しっかりと書いた
ので、字の形が整ってすばらし
い字になりました。



「おはなしのえ」
全体のバランスがよく、元氣
いっぱいかいています。



「おはなしのえ」
細かいところをていねいにか
いてあり、お話のイメージをよ
くつかんでいます。

ベビーフェイス



栄

渡部

剛さん
りよ子さん

長男

だい
大智ちゃん

昭和六十三年四月三日生

はじめまして、大智です。
お調子者のパパとおしゃべ
りなママから産まれたボクは
おしゃべり、ちよろ松、お調
子者と三拍子揃った好幼児で
す。

ボクは毎日パパと野球ごつ
こをします。六か月頃からの
血のにじむような特訓のおか
げで今ではちよつとした迷ブ
レーヤーノ
バットは空振りばかりだけ



どプロ野球のピッチャーのま
ねで、足を上げてボールを「
ポイツ」なんてこともでき
るよ。
あとは絵を書くのも得意な
んだ。タタミや壁にサラサラ
つてネ。でもママはボクに芸
術的才能はいらないんだって
ボクいつも大好きなジジと
児童館にいるから、今度一緒
に遊んでネ。

交 差 点

▶平成元年 交通事故発生状況 (11月末現在)

発 生 件 数	20	(18)
死 者 数	1	(1)
負 傷者数	19	(17)

() 内昭和63年同期

▶交通事故死ゼロ300日目標

達 成 日 平成2年4月9日
12月末現在 201日です。

▶昭和63年度交通安全標語入選作品

冬道は 注意2倍 スピード半分
(富武士小学校 坂上喜要治)

冬の道 注意2倍で 安全運転
(佐呂間中学校 川根 節也)

雪の道は スピード減少 気配り増加
(若佐中学校 国井 幸)

1990年 世界農林業センサスに ご協力を

農林水産省では、平成二年二月一日現在で、全国の農家、林家などを対象に「世界農林業センサス」を実施します。

この調査は、全国の農家、林家など農林業を営む事業体のほか、農業サービス事業体及び農業集落のすべてを対象として行う極めて大規模な調査で「農林業に関する国勢調査」ともいえるべき大切な調査です。

調査の結果は、統計表に取りまとめられ、国や地方公共団体をはじめ、各方面で農林業諸施策推進のための基礎資料として広く利用されます。

調査日には、統計調査員が、お伺いし、農林業センサスの趣旨を説明するとともに、農林業

の経営状況などをお尋ねしますので、ご協力をお願いします。

調査した事項は、統計を作成するためだけに使われるものでその他の目的に使うことは法律で固く禁じられておりますのでありのままをお答えくださいますようお願いいたします。

なお、詳しいことは役場企画調査室住民活動係（☎二二三三一一）へお問い合わせください。

（企画調査室住民活動係）



ご 寄 付 ありがとうございました

- 香典返しを廃して
社会福祉協議会へ
（亡父音春さん）
富 丘 渡部 正さん
（亡父武雄さん）
仁 倉 惣田 将勝さん
（亡義父久保春吉さん）
若 佐 堀口 拓雄さん
（亡妻キヨさん）
富 武 山根 勇さん
（亡父清さん）
若 佐 川尻 久嗣さん
（亡母スギさん）
西 富 杉森 正春さん
（亡父慶一さん）
知 来 竹内 勇さん
● 身体障害者福祉協会
佐呂間分会へ
（亡父音春さん）

- 富 丘 渡部 正さん
● 若佐老人クラブへ
（亡義父久保春吉さん）
若 佐 堀口 拓雄さん
● 社会福祉協議会事業資金として
社会福祉協議会へ
西 富 徳永 良行さん
● 全快祝を廃して
社会福祉協議会へ
宮前町 宮崎 泰子さん
● コント山口君と竹田君チャリティシヨウ益金として
佐呂間剣道スポーツ少年団へ
● 佐呂間剣道スポーツ少年団へ
● 佐呂間野球スポーツ少年団へ
● 佐呂間柔道スポーツ少年団へ
● 佐呂間バレーボールスポーツ少年団へ
● 若佐野球スポーツ少年団へ
● 若佐剣道スポーツ少年団へ
● 幌岩剣道スポーツ少年団へ
● 浜佐呂間剣道スポーツ少年団へ
● ボーイスカウト佐呂間 第一団へ
● 栄剣道、スケートスポーツ 少年団へ
● 富士野球、剣道スポーツ 少年団へ

私たちのまち		
人 口	8,146	(前月比 (-10))
男	3,934	(+ 2)
女	4,212	(-12)
世帯数	2,575	(+ 2)
11月30日現在		

- はばたけ子供会へ
● 佐呂間高校野球部へ
● 佐呂間中学校吹奏楽父母の会へ
● サロマ青少年育成会
● 特別養護老人ホームへ
（寄 付）
西 富 杉森 正春さん
若 里 今井 成行さん
富 武 船木長太郎さん
富 武 壬生 武雄さん
（寄 贈）
若 佐 赤トンボの会
遠 軽 自衛隊燈台会
オホーツク歌練会サロマ支部
（慰 問）
若 佐 赤トンボの会
佐 呂 間 保 育 所
遠 軽 自衛隊燈台会
オホーツク歌練会サロマ支部
● 町立図書館へ
若 佐 面 敏夫さん
小 清水町教育委員会
札幌市 北海道企画振興部
東京都 講 談 社